

那賀高祭

9月10日(木)・9月11日(金)・9月14日(月)
～コロナに負けるな！三密避ける！
だけど僕らの気持ちは密です。～

徳島県立那賀高等学校

せせらぎ新聞

第70号

発行/那賀地域中高一貫教育
研究委員会事務局
(徳島県立那賀高等学校内)
電話: 0884-62-1151
FAX: 0884-62-2590
那賀高校ホームページURL
http://naka-hs.tokushima-ed.jp/

文化祭

9/10

人形浄瑠璃部公演
生徒会企画/ステージイベント

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で全国一斉臨時休業となり、授業時間の確保が大きな課題となりました。さまざまな行事が中止となる中、生徒・教職員の熱い思いが結実した形で今年度の那賀高祭は行われました。

文化祭では例年二日間に渡って行われる日程を一日に短縮し、非公開で行うことになりました。バザーも中止、オーストラリアの姉妹校セントメアリーズ校やドイツのカヌー協会との交流も中止となる中、生徒会を中心に様々なイベントを用意し、会場である体育館は大いに盛り上がりました。

開会のステージは人形浄瑠璃部による公演でした。部員が三年生ということもあり、ラストステージとしての熱量を感じるものとなりました。生徒会企画では、各クラスでギネス記録に挑戦、ロシアアンクルレットに挑戦しました。各クラスの代表が挑戦し、真剣な姿に見る側もハラハラ・ドキドキしていました。その他にも、短い夏休みで撮影・編集したバカッコイイ動画、エンディングムービー、ダンスなどを生徒会が披露し、観客が参加でき、飽きさせないような工夫を随所に凝らしました。また、エシカルクラブと生徒会がコラボした「エシカルファッションショー2020」では、先生方を生徒たちがコーディネートし、普段見られない先生方の一面を見ることができました。生徒会をはじめ、全校生徒にとって充実した熱気あふれる文化祭となりました。



体育祭

9/11

9/14

午前部
午後部

二日目の体育祭。今年も雨を心配しましたが、当日は快晴。絶対のグラウンド状況で実施することができました。午前中は学年対抗リレーや二人三脚などの恒例の種目やスウェーデンリレー、養老の滝などの新種目も含め、白熱した戦いが繰り広げられました。昼休みを挟み、いよいよ昼からの応援合戦！そのとき怪しい雲が広がり、雷が鳴り始めました。テント内での待機が続く中、少雨ながらも雷が収まらないため安全面を考慮中止。今年もまた雨に泣かされました。結局この日は9月14日(月)に、残りの種目を行うことが決まり、最後の団別練習を行い下校となりました。

月曜日は快晴。朝早くから指示なしで、トラックのラインを引く野球部員たち。生徒や先生方でテントを運び、あつという間に体育祭の準備が完了する姿は、実に素晴らしい。那賀高校の良さが凝縮された光景でした。土日を挟んだにも関わらず、生徒会長の一声で気合を入れ直し、応援合戦をやり切り、昼からの競技である綱引きや男女混合リレーなど、残りの競技も全力で走り取り組んだ姿が印象的でした。延期になったものの気持ちを切らさずに練習してきた応援合戦や種目等、各団が一生懸命に体育祭を作り上げようとす姿、そして学年の枠を超え、各団皆で協力して最後まで力一杯戦う姿は本日に感動的でした。

今年度の那賀高祭は、新型コロナウイルスや天候などにも左右されましたが、生徒が一生懸命に取り組み、たくさんの方に感動を与える最高の那賀高祭となりました。

2020四国大学青春川柳コンクール

特別賞『大賞』を受賞

「ぞめき無き 阿波の夏」

31HR 岩野 李実花



この川柳は、県外から帰省していた姉を徳島駅で見送った時にできたものです。お盆は家族で阿波踊りを見に行くことが恒例で、楽しみの一つでもありました。しかし、本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止により中止となりました。「そごう」も8月末で閉店が決まっていた中で、徳島駅周辺はぞめきの音がなく閑散としていました。その時に、蜩の鳴き声が聞こえ、阿波踊りが中止となった夏、姉を送り出す寂しさが重なりました。(カナカナカナ...)

来年こそは、阿波踊りが開催され、徳島に笑顔と熱気を取り戻してほしいです。特別賞をいただくことができ、大変嬉しく思います。ありがとうございました。

岩野さんが受賞した特別賞の『大賞』は、全国から合計6,404句の応募があった川柳の最高の賞です。おめでとうございます。

私は、10月29日(木)と30日(金)の二日間、南部総合県民局でインターンシップをさせていただきました。県民局には三つの部署があり、その一つ一つの部署がどのようなことをしているのかを二日間で学びました。まず、ハローフォレストという取組について説明を受けました。ハローフォレスト自体は県民局が実施しているものではなく、取組だが、森林保全に必要な、素晴らしい取組だということが分かりました。その後ナラ枯れの被害に合っている木を見に行きました。ナラ枯れは対策がとて難しい虫害で、重要な木だけに限定して対策を行っていることを学びました。その説明が終わった後、木頭森林組合に行き、タワヤーダやスイングヤーダというとても重要な機械について教わりました。



二日目は、土木について教わりました。木材搬出に必要な林道を作っている現場に行き、どのようにして林道を作るのかを説明していただきました。その後、旧木沢村へ行き、土砂災害が起こった所に造られている治山ダムを見に行きました。治山ダムと砂防ダムの違いや、治山ダムの意味などについて教わりました。インターンシップでは、知らなかった多くのことについて知ることができました。初めて目にする物や経験するものがあり、とても為になる有意義な二日間でした。



さらに、阿南農協相生支所では農協の仕事について説明していただきました。今まで知らなかったことをたくさん知ることができて良かったです。自分の進路についてもしっかりと考えていきたいと思いました。

また、ゆずの収穫体験もしました。収穫する機会はないので、とてもいい経験になりました。ゆずの木の棘に気がつけながら収穫しました。阿南農協海川工場では、商品を保存する冷凍庫に入らせていただきました。氷点下の倉庫の中は、体が凍りそうなほど寒かったです。

10月30日(金)に職場見学に行きました。まず初めに、木頭ゆずについてのお話を聞きました。木頭ゆずは寒さに強く、酸味が強いという特長があることを学びました。「黄金の村」や「きとう村」の見学にも行きました。工場に入ると、ゆずのよい香りを感じました。ここではゆずの出荷やゆずを使った特産品の加工の様子を見学しました。

インターンシップ・企業見学

インターンシップに行つて 小林 龍正

職場見学に行つて 宮口 礼穂

エシカルクラブ 那賀町郷土料理体験・あなんまちマルシェ 2020参加



福祉コースの2年生が、フードデザインの授業の一環で、「はんごろし」をビーンズあいの方々に、「かきまぜ」をあすなるカフェボランティアグループの方々に教えていただきました。

講師の方々はとても親切で、作業工程を褒めていただき、楽しく交流しながら郷土料理づくりを学ぶことができました。

11月3日(火)、阿南市富岡町の阿南駅西口周辺で「あなんまちマルシェ 2020」が開催され、大勢のお客様で賑わいました。本校エシカルクラブは、阿南駅前展示場「キラキラあなん」で、着なくなった衣服の譲渡活動「服活」を行い、500点の衣類を陳列しました。朝から多くのお客様に来ていただき、256着を譲渡することができました。

利用していただいたお客様からは、「すてきな服が、巡り巡って誰かの元へ届くことは素晴らしいことだと思う。」「とてもいい活動だと思う。大切に着用させていただきます。」などの声を聞くことができました。

数量限定で製作したエコバッグもとても好評で、あっという間に完売しました。不要な服の問い合わせ窓口は、本校とカーブス・アピカ店です。お問い合わせの上、ご協力いただけたらと思います。よろしくお願いたします。



オープンスクール

11月1日(日)に中学生およびその保護者、中学校の先生方を対象にオープンスクールを開催しました。当日はあいにくの天気にもかかわらず、12校から中学生27名、保護者21名、先生方3名の51名もの方々に来校いただきました。授業公開および学校説明会、寮見学、部活動公開を行いました。また、アンケート結果より「1年後の那賀高校での学校生活がイメージできた」「行きたいという気持ちが強くなった」等の感想をいただくことができました。



第16回 四国高等学校カヌー新人大会に出場して



13HR 秋田 岳

カヌー部に入部後、初の県外大会となりました。香川県府中湖カヌー場に着くと、すでに他県の選手も集まっており、緊張感がありました。

私は、高校1年生シングルとフォアの2種目に出場しました。府中湖カヌー場は、普段練習している川口ダム湖カヌー場とは違い、様々な方向から強い風が吹き、いつもと違う環境に戸惑いを感じました。私は、風や波に少しでも慣れるために、いつも以上にアップを行いました。そのため、シングルのレースでは、落ち着いてスタートラインに着くことができました。発艇後、すぐに3選手に前に出られてしまい、追いかける展開となりました。最後まで諦めずに漕ぎ切り、なんとか1人をかわし、3位に入賞することができました。フォアの種目では、1年生4人で力を合わせて漕ぎ切りましたが、他県の選手に圧倒される結果となりました。初の県外大会を通して、たくさんの経験を積み重ねることができました。

今大会で得た経験を生かし、シングルのレースで負けた2人に勝てるように、冬の練習に真剣に取り組む、カヌーを全力で頑張ります。

カヌー体験会

今年度もカヌー体験会を開催することができました。9月・10月に、延べ5回のカヌー体験会を開催することができました。コロナ禍の状況の中、カヌー体験の開催に向けて多大なご支援をくださった徳島県カヌー協会をはじめ多くの関係者の皆様方には、深くお礼申し上げます。

今年も多くの小中学生がカヌー体験に参加し、カヌーを楽しんでくれました。何度もカヌー体験に参加してくれた参加者もあり、「カヌー部の先輩たちに憧れます!」と言ってくれました。今回のカヌー体験会は、部員にとっても大変貴重な交流活動となりました。今年の参加者が、将来那賀高校に進学して、カヌーにチャレンジしてくれることを期待しています。



フォレストキャンパス那賀 スギ苗木定植実習

フォレストキャンパス那賀において、森林クリエイト科1年生恒例のスギ苗木定植実習を行いました。那賀町の新田農園さんで栽培されたスギコンテナ苗100本を、4班に分かれて定植しました。かなりの急斜面でしたが、全員力を合わせて一生懸命1本1本植え付けました。収穫できるのは早くても40年先ですが、素晴らしい美林になるよう、管理を行っていきます。ご指導いただいた、徳島県南部総合農政局の皆様には感謝いたします。



新生徒会発足



11月10日(火)、生徒会役員選挙立会演説会が行われた後に、全校生徒による選挙を実際の選挙で使用される投票箱を使って実施しました。会長に西達矢さん(2年生)、副会長に清光希さん(2年生)、田中柊匡さん(2年生)が選出されました。

西生徒会長は「多くの生徒の声を聞き、学校生活の改善を積み重ね、よりよい学校にしていきます。」と抱負を述べました。

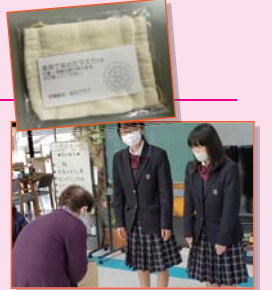
防災クラブの取組

防災食レシピ集の動画作成とHP紹介

昨年度から、「なかなか美味しい防災食レシピ集」の中で、生徒の評価の高いものを動画にする活動を始めました。災害発生時に、動画を見て美味しく温かい食事を作ることができるようにと、那賀川河川事務所の協力を得て、試行錯誤しながら作成しています。できあがった動画は、学校HPに掲載していますので是非ご覧ください。

晩茶染めマスクの作成

新型コロナウイルス感染症の流行で学校が休校となり、感染症予防の重要性を再確認しました。防災クラブでも、何か感染症対策としてできることはないかと話し合い、晩茶で染めたマスクを作成し、地域の方に配付しようと考えました。相生晩茶で染めて抗菌・消臭効果を高めたマスク50枚を、鷺敷ディサービスへ寄付することができました。



防災プログラムへの参加

11月28日(金)、本校で防災プログラムを実施しました。本校の生徒13名に加えて、鷺敷小学校や鷺敷中学校、相生中学校の生徒さんが一緒に活動してくれました。午前中は防災士の方から身近にできる防災についてのお話と災害用炊飯袋(ハイゼックス袋)を使った防災食づくりのお話を聞いた後、皆で米を炊き、カレーを食べました。午後からは、竹を使ったランタンづくりに挑戦しました。竹筒にドリルを使って穴を開け、図柄を描きました。完成した作品は、1月17日(日)に行われるボランティアのついでに展示される予定です。



サツマイモの収穫

毎年10月に本校ほ場において、鷺敷小学校のみなさんと、サツマイモの収穫体験学習を実施しています。今年度はコロナ禍の影響で交流学習が実施できませんでした。6月に定植した苗は立派に育っており、例年よりも多くの芋を収穫することができました。来年はぜひ鷺敷小学校のみなさんと一緒にサツマイモの収穫をしたいと考えています。



県内大学・専門学校訪問 1学年

11月20日(金)に、1学年全員で県内大学・専門学校訪問を実施しました。コロナ禍において、訪問を受け入れていただけるかと心配していましたが、感染予防対策を万全にした上での訪問を快諾いただきました。

今年度、普通科の生徒は、徳島文理大学と四国大学、専門学校 健祥会学園の3校の中から希望校を選び、興味・関心のある学科・学部についての学びを深めました。森林クリエイトの生徒は、徳島県農林水産総合技術支援センターと、とくしま林業アカデミーを訪問し、林業や農業に関する専門知識を学んだり、体験をさせていただいたりしました。

実際に訪問することにより、体験授業や施設見学、学校説明などを通して、自己の将来の進路決定に向けた主体的な意識の向上を図ることができたように感じています。この貴重な体験を今後の進路選択に活かしていきたいと思っています。



生徒の感想

- ・感染対策の基本というテーマの内容で授業体験をしました。標準予防策や飛沫感染予防策など、あまり聞いたことがなかったので、知ることができて良かったです。(11HR)
- ・とても整った施設が印象的でした。理学療学科と看護学科の授業を体験しましたが、人体模型や義足、車椅子など、専門的な道具が並んでいて大変勉強になりました。今回の体験を無駄にせず、将来に活かしていけるように頑張っていこうと思います。(12HR)
- ・農林水産総合技術支援センターでは、複数のコースがあり、特に農業生産技術コースに興味を湧きました。畑を耕作したり、野菜や果実を育てたりするとのことでした。とくしま林業アカデミーでは、木材の種類や学習や、ハーベスタのシミュレーター体験をしました。2カ所の施設に訪問することができ、良かったです。(13HR)